



日出谷小だより

学校教育目標【明日をつくる日出谷の子】

桶川市上日出谷885 電話 048-786-2880 児童数 465名 (令和4年6月1日現在)

体験を通した学びが戻ってきました

校長 閑野 千鶴



年老いた父が何度も同じ話を繰り返すので、自分史を書いてみたらと勧めてみました。しばらくすると文書作成ソフトを使ってA4サイズ用の紙20枚分の原稿を見せてくれました。

20ページのうちの3ページを使って小学生の頃のことを書いていました。「その時の先生は〇〇〇〇先生で、1年生の時と2年生の時の担任の先生でした。先生は何かとすぐに怒り、いつもびくびくさせられていて

怖い先生でした。」「小学校3年生になると、牛に草を食べさせるために、毎朝のように学校に行く前に草刈りに出かけさせられた。」「5年生のときの先生は◇◇◇◇先生で、クラスの生徒全員を川の堤防まで連れて行って堤防の上から土地の特徴とそこからくる地名の由来を説明してくれた。『水害も多く、農産物の収穫は限られる。ここに残れるのは、せいぜい男子は長男だけ、みんな一生懸命勉強して、東京の方へ出ていくことを考えなさい。』子供心にも、大人になって独立して生活してゆくための勉強の大切さを教えていただいたことに感銘を受け、今でも感謝している。」などと続きます。

ちなみに私が登場するのは「〇〇病院で長女の千鶴が生まれました。」「闘病したとき娘の千鶴は高校1年生で弟の世話をして学校に通わなくてはならず、大変だったと思う。」の2行だけ、あんなに誕生を喜んだ孫のことなどは一言も出てきません。父には「まだ書いてないことがたくさんあるでしょう。」とダメ出しをしました。

父の若干自己中心的な性格も影響しているのですが、年を取ると大人になってからの記憶の多くを忘れてしまうものの、幼い小学生の頃の記憶はずっと刻まれていることに気付かされ、改めて小学校教育に携わる仕事の責任の重さを実感しました。タブレット端末が使われるようになり、教室の環境は変化しています。それでも実際に見聞きし、体験を通した学習が子供の深い理解に結びつくことは今も昔も変わらないと知りました。

今年度は3年ぶりに調理実習、合唱、プール、グループ活動など、体験を通した学習が教育現場に戻ってきました。1年生が毎朝瞳を輝かせて「アサガオが咲いたよ!」と報告してくれます。感染症対策を続けながら100歳になっても記憶に残る小学校ならではの様々な体験を通した学びの場をつくっていきたいと思います。

保護者の皆様、1学期の本校教育活動へのご支援ご協力、ありがとうございました。

お知らせとお願い

1 マスク着用よりも熱中症対策を

厚生労働省、文部科学省からマスク着用の考え方が示されました。夏場は熱中症を予防することが大切です。熱中症は命に関わる問題です。学校では体育の授業、外遊びなどはマスクを外すように話しています。ご家庭でも登校時はマスクを外すよう、ぜひお子さんにお声かけください。

2 新「学校情報メールシステム」登録のお願い

6月20日にお手紙でお知らせしました通り、7月から新しいシステムでの学校情報メール配信が始まります。登録がまだの方はお早目をお願いします。

3 教育相談のご案内

スクールカウンセラー出勤日は7月6日(水)午後、8月2日(火)午前の予定です。7月の教育相談日は15日(金)です。